1 特徴 3
2 使用環境 5
3 インストール 6
3.1 インストーラの起動 6
3.2 使用許諾条件 6
3.3 ユーザ情報 6
4 操作 7
4.1 動画静止画の切り替え 7
4.1.1 １画面モード 7
4.1.2 ２画面、４画面分割モード 7
4.2 画像反転 7
4.2.1 画像の上下反転 7
4.2.2 画像の左右反転 8
4.3 画面分割 8
4.3.1 ２画面上下分割モード 8
4.3.2 ２画面左右分割モード 9
4.3.3 ４画面分割中央抽出モード 9
4.3.4 ４画面分割縮小モード 9
4.4 特殊効果 10
4.4.1 ノイズ除去 10
4.4.2 画像積算 10
4.4.3 画像間加算 11
4.4.4 画像間減算＋オフセット 11
4.4.5 画像間減算＋絶対値 12
4.4.6 画像間乗算 12
4.4.7 動画をモノクロ化します。 12
4.4.8 画像 2 値化 13
4.4.9 色反転（ネガ） 13
4.4.10 画像間AND 14
4.4.11 画像間OR 14
4.4.12 画像間XOR 15
4.5 画像保存と読み込み 16
4.5.1 手動保存 16
4.5.2 自動保存 17
4.5.3 定周期自動保存 18
4.6 画像読込 18
4.7 ユーザ定義マーカ 19
4.7.1 表示 19
4.7.2 作成 19
4.7.3 保存 20
4.7.4 編集 20
4.7.5 削除 20
4.8 可変ピッチスケール 20
4.9 計測 21
4.9.1 校正 21
4.9.2 ２点間距離 22

4.9.3　３点指定角度 24
4.9.4　４点指定角度 24
4.9.5　円（面積、半径） 25
4.9.6　矩形（面積、辺長） 25
4.9.7　点座標 26
4.9.8　個数カウント 26
4.9.9　２円中心間距離 27
4.9.10　点と線の距離 27
4.9.11　平行２線分間距離 28
4.9.12　多角形（面積、周囲長） 28
4.9.13　折れ線長 29
4.9.14　コメント挿入 30
4.9.15　削除 30
4.9.16　フォントサイズ 30
4.9.17　その他 30
4.10　カラー調整 31
4.11　カメラの選択 32
4.12　デバイスプロパティ 32
4.13　画像の管理 33
5　機能一覧 35
6　ライセンス登録 36

1　特徴

Cam View は豊富な機能を備えた、DirectX 対応キャプチャデバイス(USB カメラ、キャプチャボード等)のビュアーです。製造ライン、ラボ、教育現場などで幅広くお使い頂けます。
主な特徴は以下の通りです。

フリーズ
- 全画面、分割画面
- マウスクリックのみで任意の部分を動画、静止画切り替え可能

画像反転
- 動画のままで上下、左右反転表示

画面分割
- 表示ウィンドウの分割（上下、左右、４分割）
- ４分割時の二つの動作モード（縮小、中央抽出）

特殊効果
- 動画像または動画像と静止画像間で可能
- ノイズ除去、画像積算、画像間加算、画像間減算＋オフセット、画像間減算＋絶対値、画像間乗算、モノクロ化、モノクロ＋２値化、輝度反転(ネガ)、画像間論理積、画像間論理和、画像間排他的論理和

画像保存
- 指定周期で指定枚数の画像を自動保存
- ファイル名を自動作成してワンタッチで保存
- マーカ、スケールおよび計測結果のオーバレイ
- 画像下部へのタイトル、日付時刻付加
- JPEG クオリティ設定
- JPEG 画像にタイトル、サブジェクト、コメント、作者等を設定
  （参照には Windows XP が必要です）

画像読込
- 全画面、分割画面への読み込み

ユーザ定義マーカ
- 動画および静止画上に任意の色、サイズでマーカ作成、表示
- 線分、垂直線、水平線、矩形、正方形、円、楕円

可変ピッチスケール
- クロス、メッシュ、同心円
- XY 連動または XY 個別にピッチ変更可能
- キャリブレーション結果を反映した XY 連動ピッチ可変

キャリブレーション
- 画素が正方形以外でも正確な結果が得られる２軸キャリブレーションを採用
- 実行、保存、読込

計測

- 動画および静止画での計測、結果のリアルタイム表示
- 画素の X、Y 比率を反映した角度、円表示
- 使いやすいユーザインターフェース
- 豊富な計測項目
- フォントサイズ変更
- ２点間距離、３点指定角度、４点指定角度、円(面積、半径)、 矩形(面積、辺長)、点座標、個数カウント、２円中心距離、点と線の距離、平行２線分間距離、多角形（面積、周囲長）、折れ線長、コメント挿入

カラー調整

- デバイス間で共通なユーザインタフェース
- ブライトネス、コントラスト、ヒュー、サチュレーション、シャープネス、ガンマ、ホワイトバランス、バックライト補正、ゲイン
  （カメラにより調整可能な項目は異なります）

デバイス設定

- デバイス間で共通なユーザインタフェース
- デバイス選択、解像度設定、フォーマット設定、フレームレート設定
  （カメラにより設定可能な項目は異なります）

デバイスプロパティ

2　使用環境

- ■ キャプチャデバイス：　DirectX 対応デバイス（USB カメラ、IEEE1394 カメラ、キャプチャボード等）
- ■ OS：　Windows 2000, Windows XP
  DirectX 9 以上がインストール済みの事
- ■ メモリ：　256MB 以上
- ■ CPU：　最低　PentiumII 366MHz（推奨 Celeron 900MHz 以上）
- ■ グラフィック：　800×600 (1024×768 以上推奨) 24 ビットカラー以上

御注意）
上記条件を満たしていても構成によっては動作しない場合があります。
可能な限り試用版で動作確認の上お求め下さい。

3　インストール

3.1　インストーラの起動

お客様の PC に DirectX 9 がインストール済みかご確認下さい。インストールされていない場合はインストールして下さい。DirectX 9 は Cam View の CD に同梱されています。Cam View をダウンロードで入手された場合はマイクロソフトのサイトからインストールを行って下さい。
http://www.microsoft.com/japan/windows/directx/default.aspx

'Install.exe' をダブルクリックするとインストーラが起動します。インストールに使用する言語のボタンをクリックして下さい。インストーラの指示にしたがって必要項目を入力しインストールを行って下さい。

3.2　使用許諾条件

使用許諾条件は必ずお読み下さい。条件に同意される場合は[はい]をクリックしインストールを継続して下さい。同意されない場合は[いいえ]クリックしてインストールを終了して下さい。

3.3　ユーザ情報

ユーザ情報およびシリアル番号を入力して下さい。シリアル番号は CD に添付されています。Cam View をダウンロードで入手された場合は解凍されたディレクトリ中にあるファイル 'ReadMeJpn.txt' に書かれているシリアル番号をご使用下さい。

4　操作

4.1　動画静止画の切り替え

4.1.1 １画面モード

動画と静止画の切り替えはメインウィンドウの ボタンをクリックします。

4.1.2 ２画面、４画面分割モード

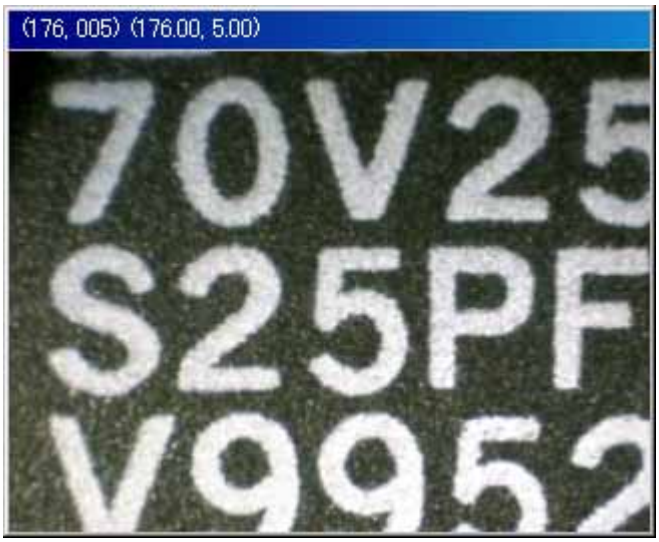
ボタンをクリックする事で、動画表示の画面位置が順に移動します。

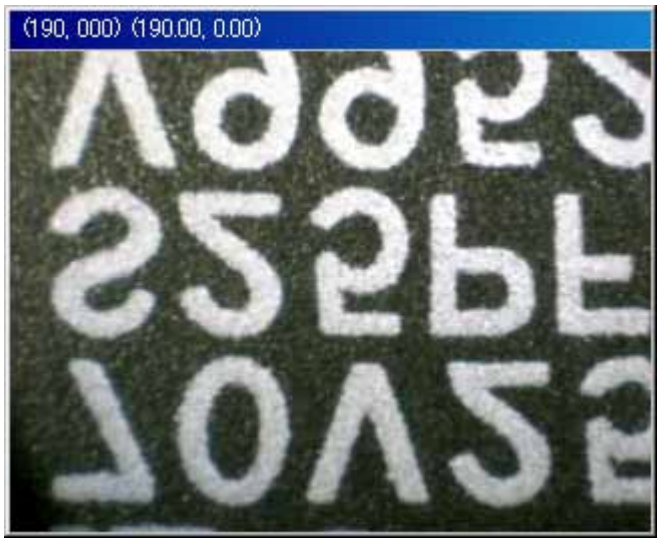
２画面の場合は第２画面、４画面の場合は第４画面に動画が表示されている状態で をクリックすると全画面が静止画になります。さらにクリックすると第１画面が動画となります。また、画面分割モードの場合には分割された各画面をマウスでクリックすることで、その画面の表示を動画、静止画に切り替えることができます。

4.2　画像反転

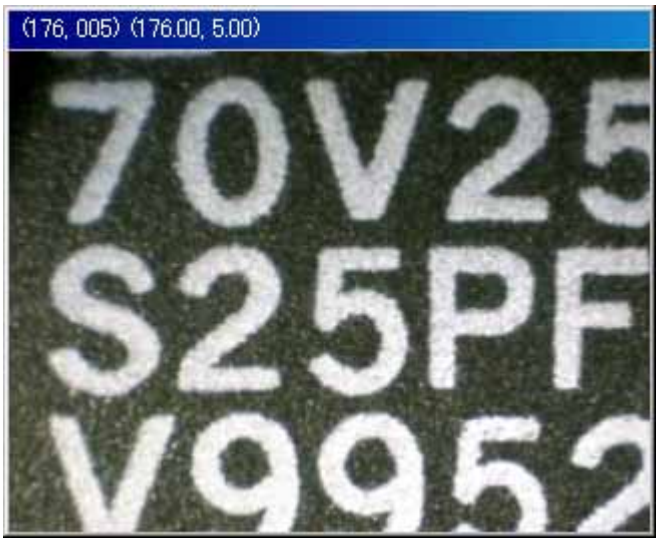
画像の反転は動画像のときのみ機能します。

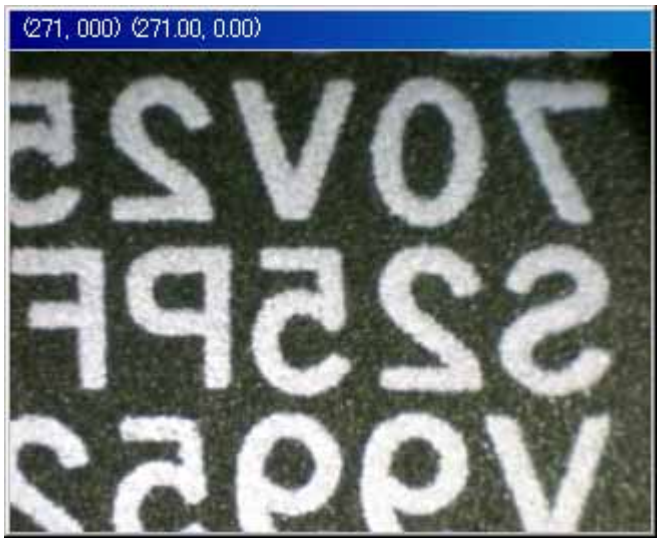
4.2.1 画像の上下反転





4.2.2 画像の左右反転



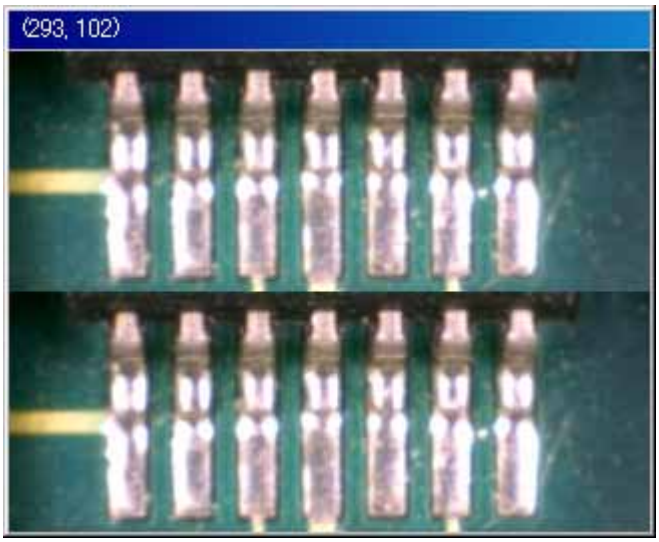


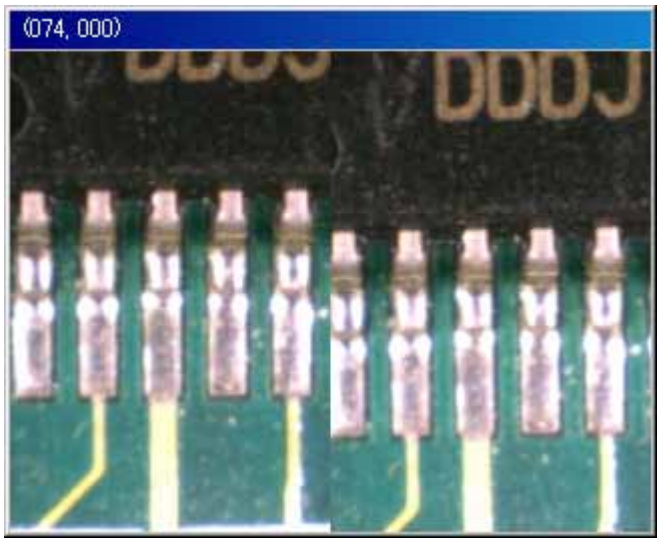
4.3 画面分割

分割モード時はスケール表示、マーカ表示、計測機能はご使用できません。

4.3.1 ２画面上下分割モード

画像の中央部を分割画面に表示します。



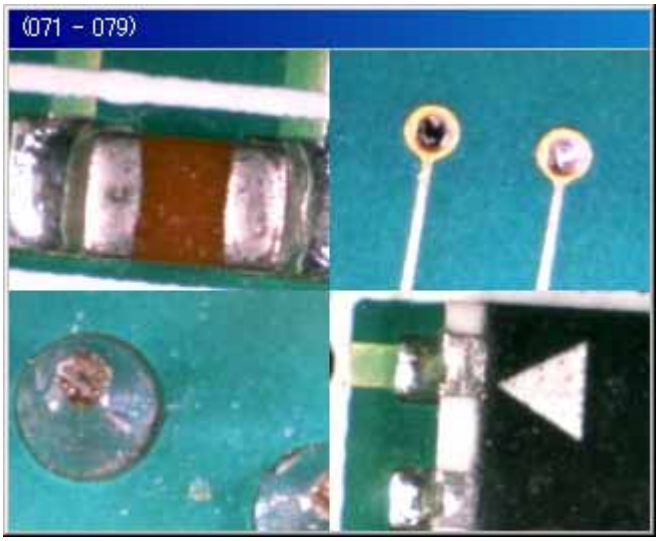


4.3.2 ２画面左右分割モード

画像の中央部を分割画面に表示します。

4.3.3 ４画面分割中央抽出モード

画像の中央部を抽出して縮小せずに表示します。



4.3.4 ４画面分割縮小モード

画像は縮小されて表示されます。

4.4　特殊効果

4.4.1 ノイズ除去

動画のノイズ除去を行います。

の数値を変えるとフィルタの強度を調整できます。

4.4.2 画像積算

暗い画像を積算、ノイズ除去し明るくします。

の右隅のボタンをクリックしダイアログを表示して、積算前に減算する背景画像を指定します。

　この背景画像はカメラから光を完全に遮断し、動画ノイズ除去で十分にノイズを除去した画像（真っ暗な画像となります）を保存したものです。背景画像作成時、積算時ともに、カメラの自動調整機能はすべてオフとしたほうが良い結果が得られます。カメラによっては暗い時に極端にノイズが増えるものがあります。このようなカメラの場合期待する結果が得られないこともあります。

の数値を変えると明るさを調整できます。

積算前画像

積算後画像

上記画像は実際に A 社マイクロスコープ＋USB キャプチャユニットで撮影したものです。

4.4.3　画像間加算

静止画との加算を行います。

の数値を変えると加算比率を変更できます。加算する画像ファイルは

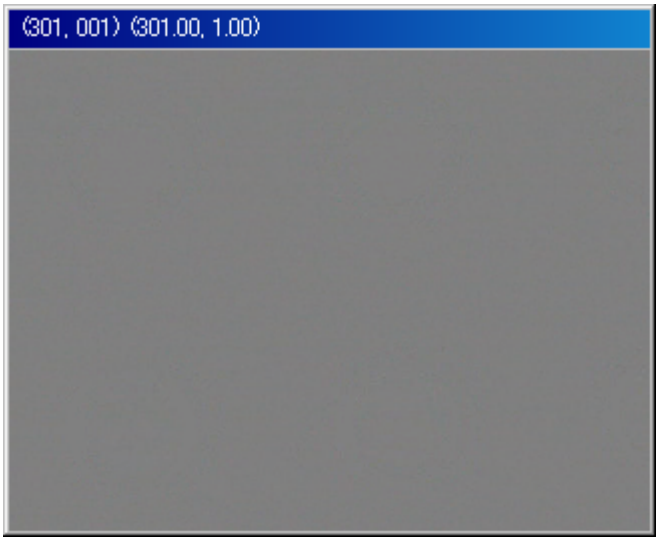
の右隅のボタンをクリックしダイアログを表示して選択できます。

4.4.4 画像間減算＋オフセット

動画から静止画を減算し５０％のオフセットを加算します。

の数値を変えると減算結果のゲインを変更できます。減算する画像ファイルは

の右隅のボタンをクリックしダイアログを表示して選択できます。



動画と静止画が完全一致

動画と静止画の位置ずれが発生している画像

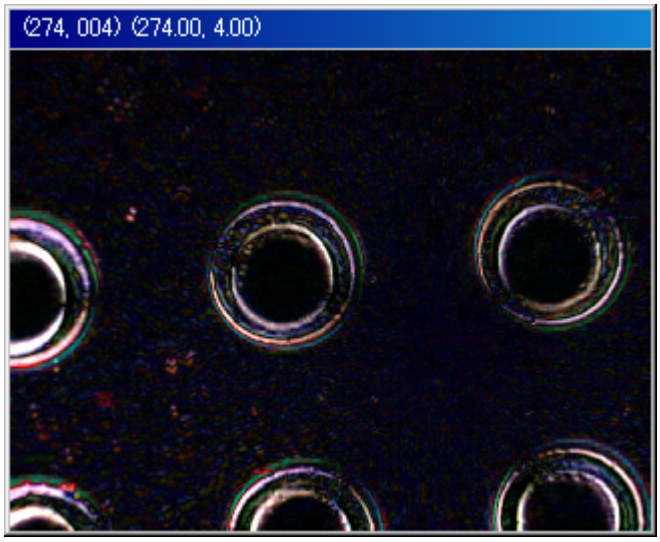
4.4.5　画像間減算＋絶対値

動画から静止画を減算し絶対値をとります。

の数値を変えると減算結果のゲインを変更できます。減算する画像ファイルは

の右隅のボタンをクリックしダイアログを表示して選択できます。

動画と静止画が完全一致



動画と静止画が位置ずれが発生している画像

4.4.6 画像間乗算

動画と静止画の乗算を行います。

乗算する画像ファイルは

の右隅のボタンをクリックしダイアログを表示して選択できます。

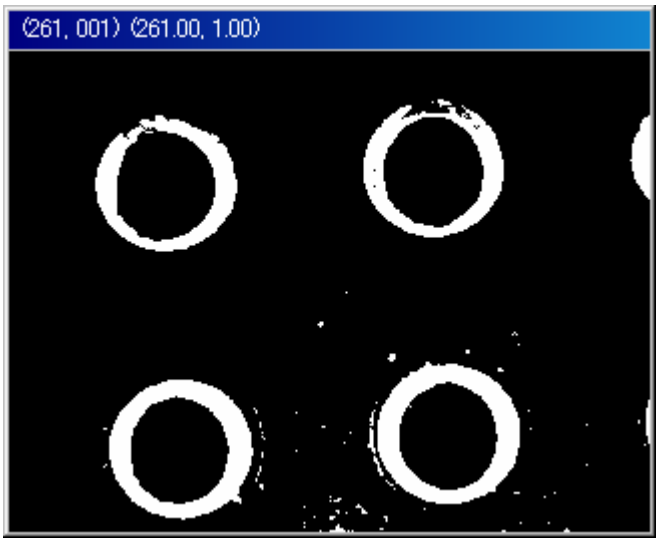
4.4.7 動画をモノクロ化します。

動画をモノクロ化します。

4.4.8 画像 2 値化

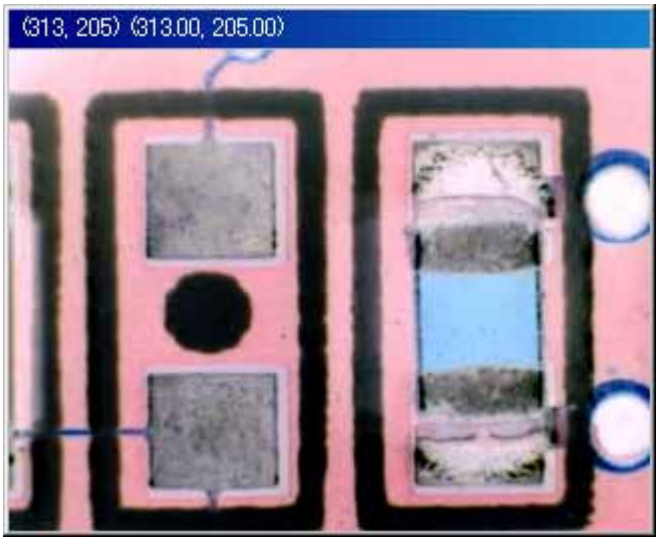
動画をモノクロ化した後、2 値化します。

2 値化のレベルは で設定します。



4.4.9 色反転（ネガ）

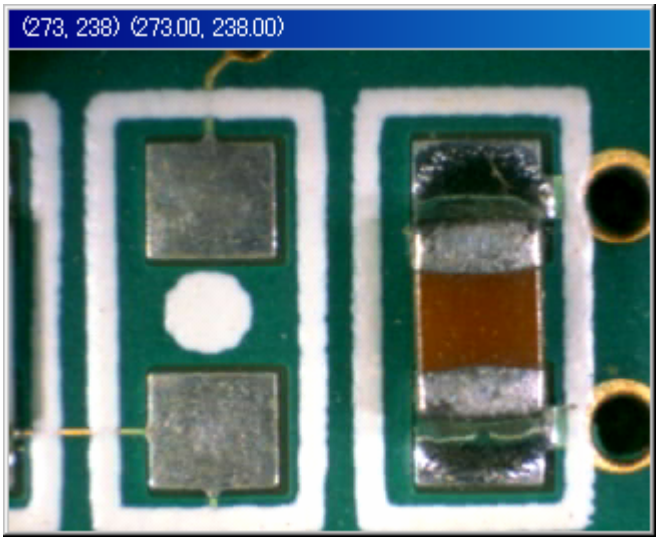
動画の色を反転します。

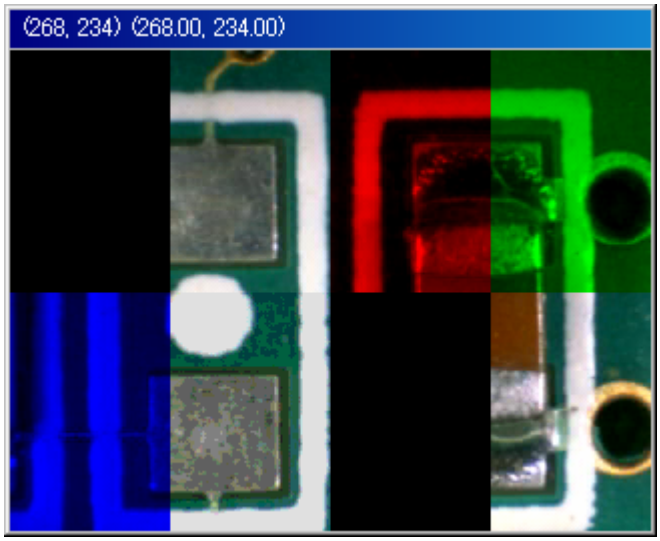


4.4.10　画像間 AND

動画と静止画の AND を行います。

AND する画像ファイルは の右隅のボタンをクリックしダイアログを表示して選択できます。

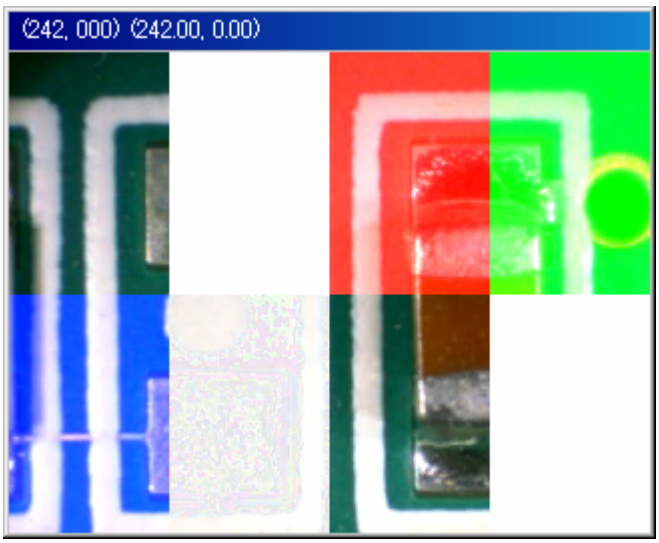




4.4.11　画像間 OR

動画と静止画の OR を行います。

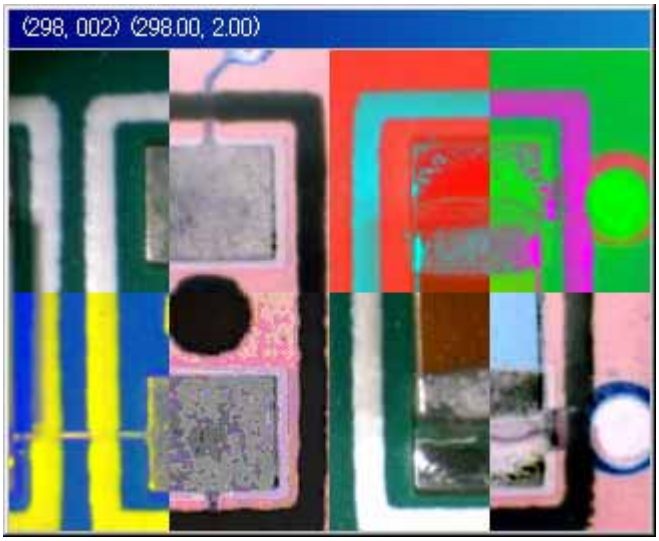
OR する画像ファイルは の右隅のボタンをクリックしダイアログを表示して選択できます。



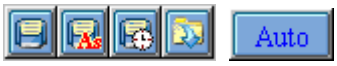
4.4.12　画像間 XOR

動画と静止画の XOR を行います。

XOR する画像ファイルは の右隅のボタンをクリックしダイアログを表示して選択できます。



4.5　画像保存と読み込み



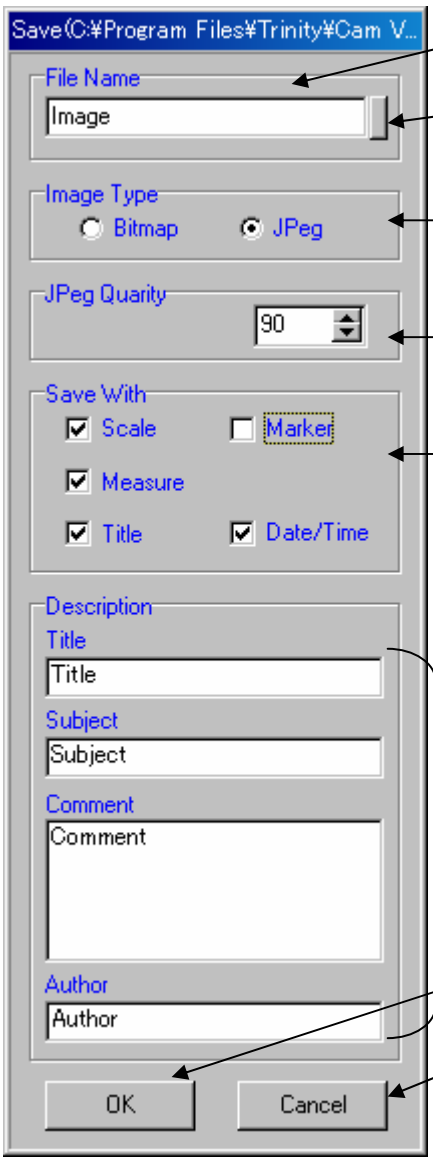
画像の保存には２つの方法があります。手動保存と自動保存です。

自動保存の場合、あらかじめ設定された条件で自動的にファイル名を付け画像を保存します。手動保存の場合は保存するときに、その都度条件やファイル名を指定します。また、自動保存には一定の周期で指定枚数を自動的に保存する機能もあります。

既存の画像を全画面または分割画面の任意の位置に読み込むことができます。

4.5.1 手動保存

手動保存を行うにはメインウィンドウの をクリックし、保存ダイアログを表示します。



保存するファイル名を入力します

保存するフォルダとファイル名を入力する時にクリックします。

保存する画像の形式を指定します。JPEG と Bitmap が指定できます。

JPEG 形式で保存するときの品質を指定します。100 が最高です。

画像の中および画像の下部に付加する情報を指定します。
Scale：　可変ピッチスケールを画像に埋め込みます
Measure：　計測マーカおよび結果を画像に埋め込みます
Marker：　ユーザ定義マーカを画像に埋め込みます。
Title：　タイトルを画像の下部に付加します。
Date/Time：　日付と時刻を画像の下部に付加します。

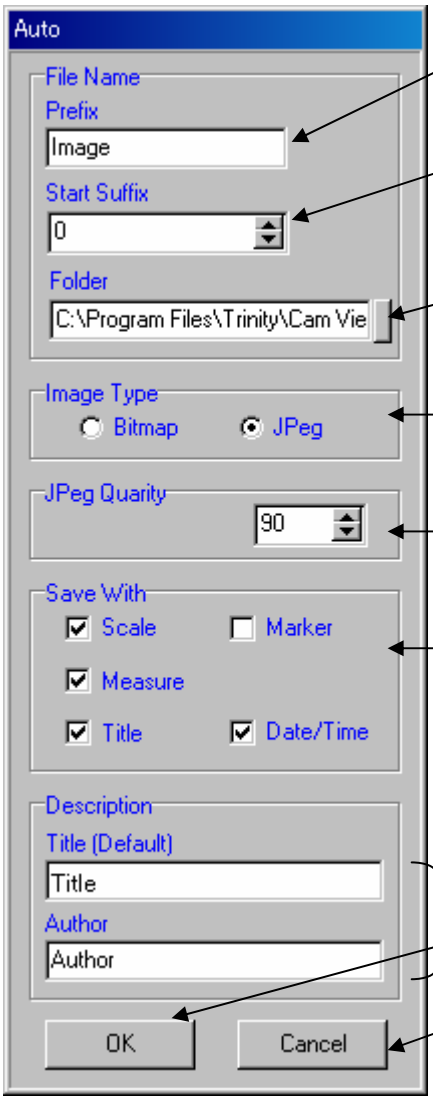
画像に付加する情報を指定します。
これらの情報は Windows XP の場合ファイルのプロパティで参照することができます。

画像を保存してダイアログを閉じます。

画像を保存せずにダイアログを閉じます。

4.5.2 自動保存

自動保存を行うためには、あらかじめ保存条件を設定しておく必要があります。Auto をクリックするとダイアログが表示されます。



自動保存時のファイル名の前半部分を指定します。

自動保存時のファイル名の後半部分を指定します。ファイル名の後半部分はこの数値から始まる4桁の数値となります。

自動保存するフォルダを指定します。 をクリックしてフォルダを指定してください。

保存する画像の形式を指定します。JPEG と Bitmap が指定できます。

JPEG 形式で保存するときの品質を指定します。100 が最高です。

画像の中および画像の下部に付加する情報を指定します。

画像に付加する情報を指定します。
保存するすべてのファイルにこの情報が付けられます。

設定を保存せずにダイアログを閉じます。

設定を保存してダイアログを閉じます。

設定を行った後、 をクリックすると、画像が静止状態、動画状態であるかにかかわらず、設定した条件で画像が保存されます。自動的に付けられるファイル名は以下のようになります。

<prefix><xxxx>.<bmp|jpg>

たとえば、prefix に Image、start suffix に 0 を指定し、JPEG 形式の画像を保存すると最初に保存するときのファイル名は

Image0000.jpg

となります。以後

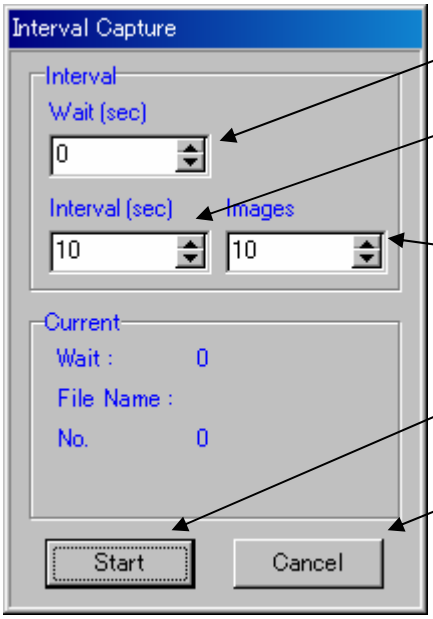
Image0001.jpg
Image0002.jpg
Image0003.jpg
…

とサフィックスの数値が増えて行きます。

4.5.3 定周期自動保存

定周期自動保存は指定した時間間隔ごとに指定枚数だけ画像を自動的に保存します。定周期自動保存を行うためには、あらかじめ保存条件を設定しておく必要があります。設定方法は自動保存の項を参照して下さい。

をクリックするとダイアログが開きます。



保存開始までの待ち時間を設定します。604800 秒(7 日間)まで設定できます。

保存周期を設定します。5 秒～3600 秒(1 時間)まで設定可能です。

保存枚数を指定します。

定周期保存を開始します。

定周期保存開始前は Cancel と表示され、クリックすると定周期保存を開始せずにダイアログを閉じます。開始後は Stop と表示され、クリックすると定周期保存を中断します。

4.6 画像読込

既存の画像ファイルを全画面または分割画面の任意の位置に読み込むことができます。

をクリックすると画像読み込みのダイアログが開き画像を読み込み表示することができます。

読み込んだ画像に対して、再度計測を行ったり、分割画面を利用して画像を比較することができます。

画面が分割されているときに、画像を読み込むと画像は動画が表示されている位置に読み込まれます。すべて静止画状態のときは第 1 分割画面（左、上、左上の画面）に読み込まれます。

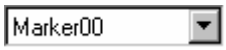
読み込む画像の X 軸のドット数はカメラ画像の X 軸の解像度と一致している必要があります。

読み込み可能な画像形式は BMP と JPG となります。

4.7　ユーザ定義マーカ

ユーザ定義可能なマーカを作成し表示することができます。

4.7.1 表示



でマーカファイルを選択し、 のクリックでマーカの表示、非表示を切り替えます。

4.7.2 作成

をクリックし、マーカ編集用ボタンを有効にします。

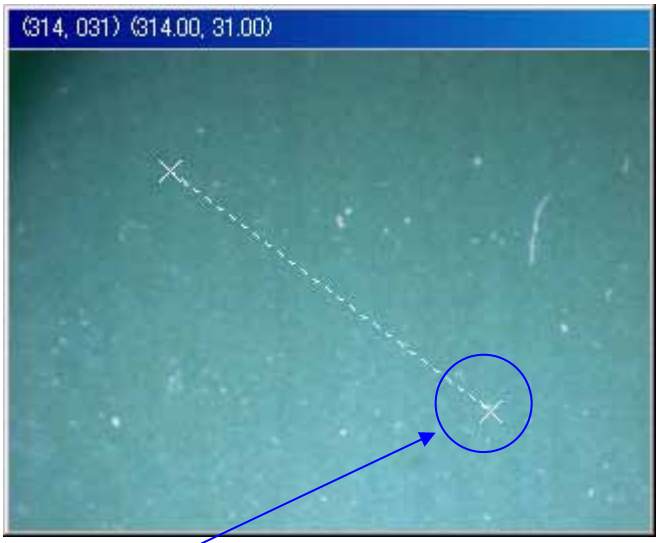
をクリックして表示色を選択します。

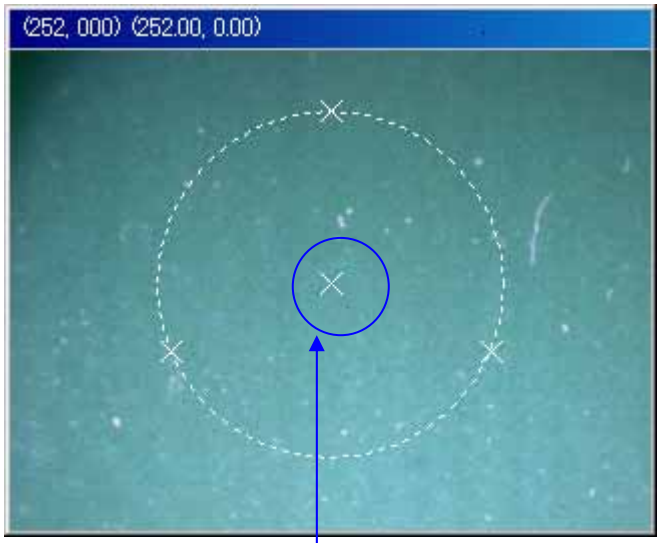
をクリックして形状を選択します。

形状を選択すると画像上にマーカが表示されます。このとき画像は動画でも静止画でもかまいません。マーカが表示されるとその一部に小さな×一緒に表示されます。この×をハンドルと呼びます。マーカの選択、移動、変形はこのハンドルをマウスでクリックしドラッグすることで行います。

ハンドルをクリックするとマーカが点線に変わり、現在そのマーカが選択されていることを表します。マーカを移動、変形するにはハンドルをクリックしたままドラッグして下さい。マーカの選択を解除するには画面上のマーカのない部分を「右クリック」して下さい。

以上の手順を繰り返して画面上に複数のマーカを配置します。マーカを削除するには、選択（点線で表示される）の後 をクリックして下さい。また、すべてのマーカを削除するには をクリックして下さい。





この「×」をクリック＆ドラッグして移動変形します。円、矩形等の場合「中心位置」も表示されます。中心の×をクリック＆ドラッグすることで変形なしに図形を移動することができます。また、SHIFT キーを押しながら中心位置以外の×をクリック＆ドラッグすると中心を移動せずに図形の大きさを変えられます。

4.7.3 保存

作成したマーカに名前を付けて保存することができます。

にファイルの名前を入力し をクリックしてください。ファイル名には拡張子は入力しないでください。

4.7.4 編集

の右側の下向き矢印をクリックすると現在保存されているマーカの一覧が表示されます。編集するマーカを選択すると画面上にマーカが表示されます。画面上の表示されたマーカを編集し、ファイルへ保存してください。

4.7.5 削除

から削除するマーカを選択して下さい。画面上でマーカを確認し、 をクリックしてください。

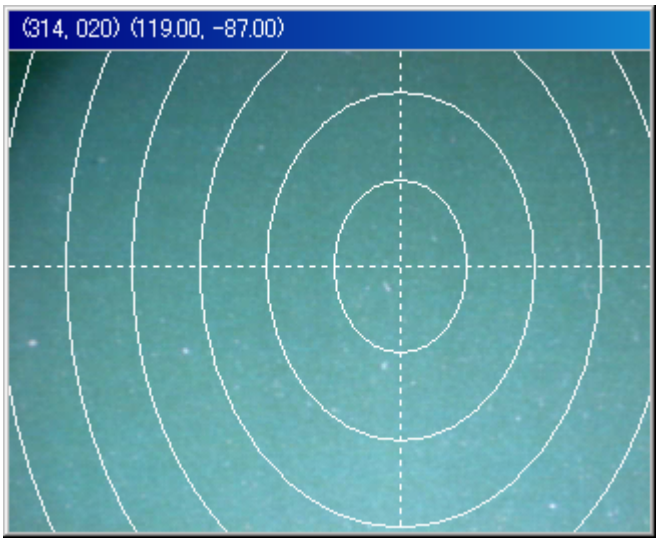
4.8 可変ピッチスケール

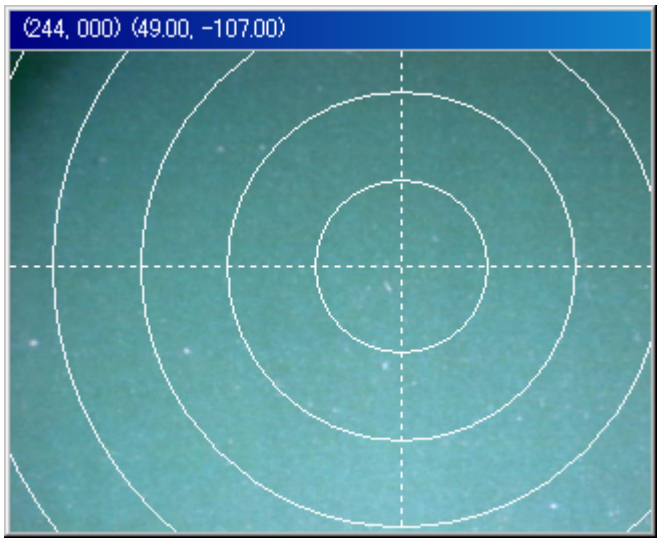
で色を選択して でスケール形状を選択表示します。

をクリックすると中心の XY 軸が点線に変わり、ピッチを変更できるようになります。X 軸とスケールの交点をクリック＆ドラッグすると X 方向、Y 軸とスケールとの交点をクリック＆ドラッグすると Y 方向のピッチが変化します。

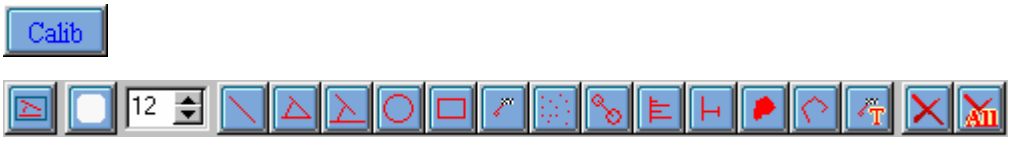
SHIFT キーを押しながらクリック＆ドラッグすると XY 軸のピッチが同一間隔になるように保ちながら変化します。また、CTRL キーを押しながらクリック＆ドラッグするとキャリブレーション結果に基づいて、画面上ではなく実座標で X、Y 軸のピッチが同一間隔になるように保ちながら変化します。

また、原点をクリック＆ドラッグすることで原点を移動することができます。原点を移動すると画像ウィンドウ上部に表示される座標値に反映されます。



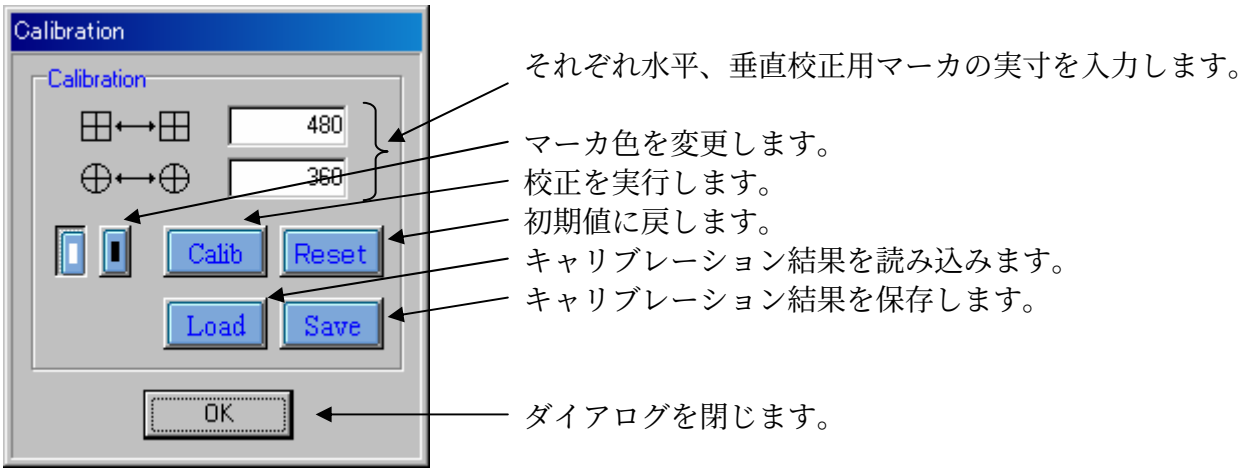


4.9　計測



4.9.1 校正

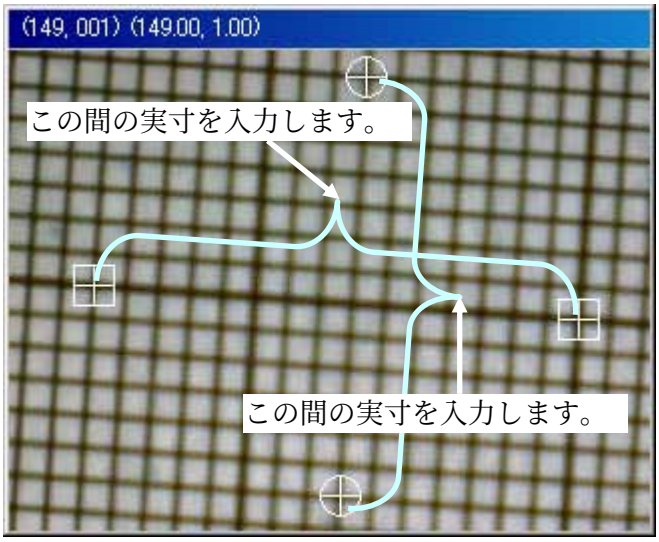
をクリックし校正用ダイアログを表示してください。



校正用メジャーをカメラで写してください。校正用マーカのハンドル（水平方向が正方形、垂直方向が円）をクリックし、そのままドラッグして校正用メジャーの目盛に重ね合わせて下さい。このとき、可能なかぎり水平、垂直共にハンドル間の距離を大きくとってください。水平方向の校正軸と垂直方向の校正軸の角度は９０度である必要はありませんが、可能な限り９０度に近づけて下さい。

水平、垂直方向のマーカの実寸を入力し、

をクリックし校正を実行します。

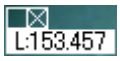


4.9.2 ２点間距離

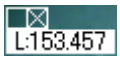
をクリックし、計測用ボタンを有効にします。

で表示色を選択して、
をクリックすると画像上に結果表示ハンドルが表示されます。このとき画像は動画でも静止画でもかまいません。

次に画面上の任意の位置をクリックするとその位置にハンドル「×」が表示されます。さらに別の位置をクリックすると２点間に点線が引かれ、計測結果が表示されます。

計測結果の表示は 

左上の小さな正方形をクリック＆ドラッグすることで任意の位置に移動できます。

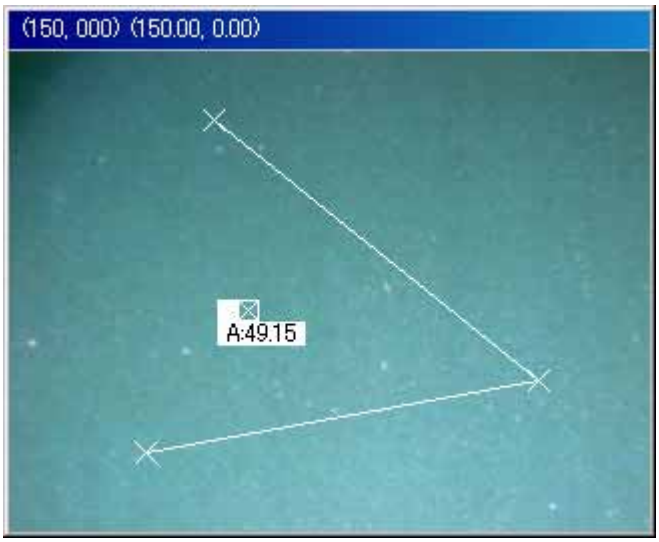


の「×」の付いた正方形をクリックするとハンドルが消えます。再度クリックするとハンドルが再び表示されます。画面上の何もない位置を「右クリック」すると選択が解除されます。

ハンドルはクリック＆ドラッグすることで移動でき計測値もリアルタイムで変化します。

(188, 017) (188.00, 17.00)
L:153.457

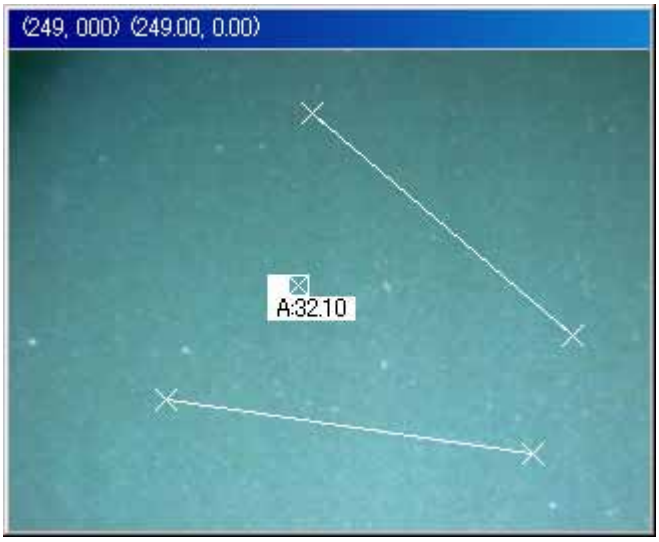
4.9.3 ３点指定角度



３点指定角度では３点を指定した後に計測結果が表示されます。数値表示される角度は実寸でのものとなります。

Ｘ軸とＹ軸の１画素あたりの実寸が異なると画面上の見掛けの角度と実平面での角度は異なります。

4.9.4 ４点指定角度



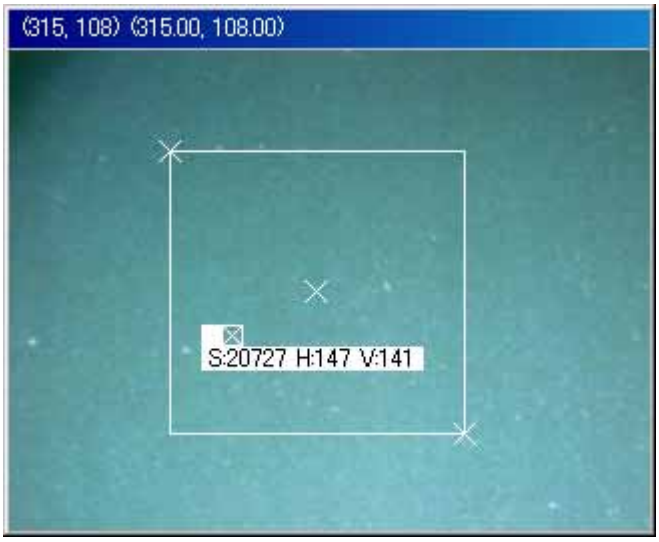
４点指定角度では４点を指定した後に計測結果が表示されます。数値表示される角度は実寸でのものとなります。

Ｘ軸とＹ軸の１画素あたりの実寸が異なると画面上の見掛けの角度と実平面での角度は異なります。

4.9.5 円（面積、半径）

円では３点を指定した後に計測結果が表示されます。
中心にあるハンドルをクリック＆ドラッグすることで変形なしに画像を移動できます。
また、SHIFT キーを押しながらクリック＆ドラッグすることで中心位置を移動せずに画像の大きさを変えられます。 このとき表示される円は画面座標での円ではなく、キャリブレーション結果に基づいた実座標での円となります。したがって、X 軸と Y 軸の 1 画素あたりの実寸が異なると楕円が描画されます。

4.9.6 矩形（面積、辺長）



矩形では２点を指定した後に計測結果が表示されます。
中心にあるハンドルをクリック＆ドラッグすることで変形なしに画像を移動できます。また、SHIFT キーを押しながらクリック＆ドラッグすることで中心位置を移動せずに画像の大きさ、形状を変えられます

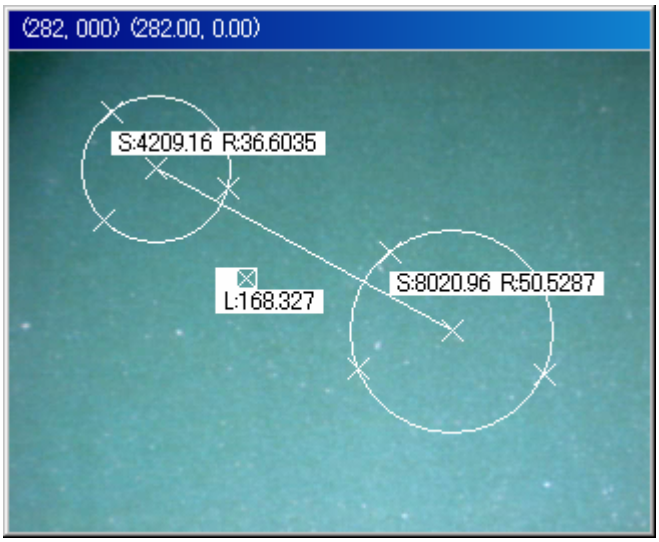
4.9.7 点座標

点座標は１点を指定すると座標値が表示されます。
表示される座標値はキャリブレーションの結果とスケールの原点を反映したものとなります。

4.9.8 個数カウント

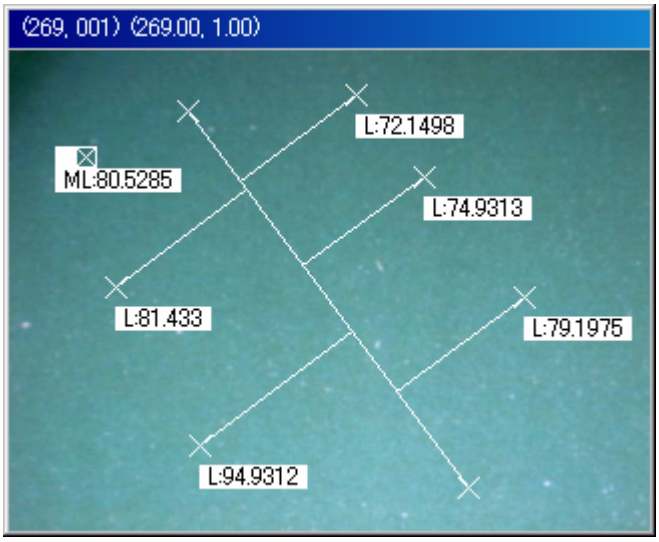
個数カウントを選択すると、最初に結果表示ハンドルが表示されます。
選択状態で画面上の任意の位置をクリックすると、その位置に点線円が表示され、カウント値がアップします。
カウントをキャンセルするには、選択状態で点線円の内部を「右クリック」して下さい。

4.9.9 ２円中心間距離



３点を指定すると円が表示され、６点指定すると２つ目の円と共に計測結果が表示されます。

4.9.10 点と線の距離



２点を指定すると直線が表示され、３点目以降からはその点から直線への垂線と距離が表示されます。結果表示ハンドルには垂線の長さの平均値が表示されます。

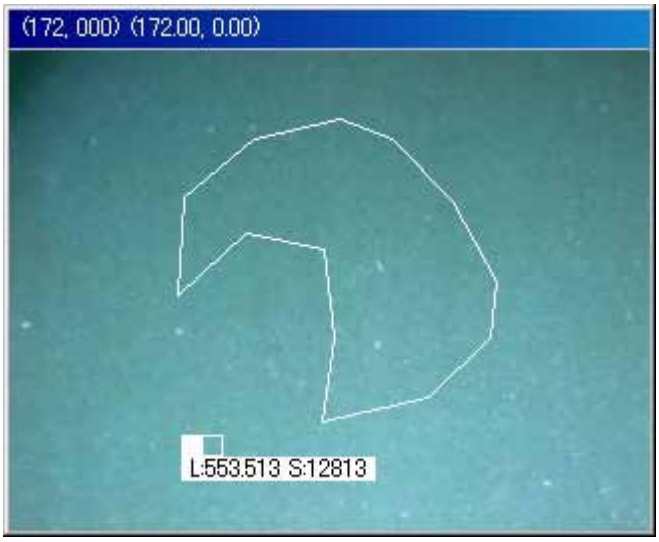
選択状態で画面上の３点目以降のハンドルを「右クリック」するとそのハンドルは消去されます。

選択を解除するには、画面上の何もない位置を「右クリック」して下さい。

4.9.11　平行２線分間距離

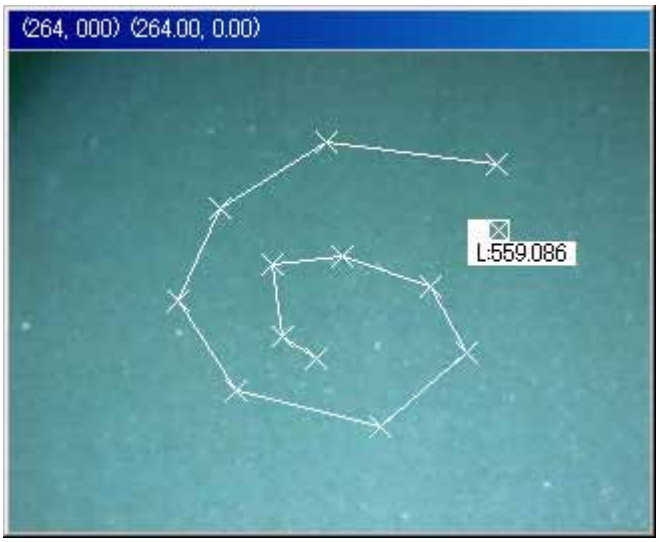
２点を指定すると直線が表示され、３点目を指定するとハンドルと最初の直線に平行な直線が表示されます。
結果表示ハンドルには２つの直線間の距離が表示されます。

4.9.12　多角形（面積、周囲長）



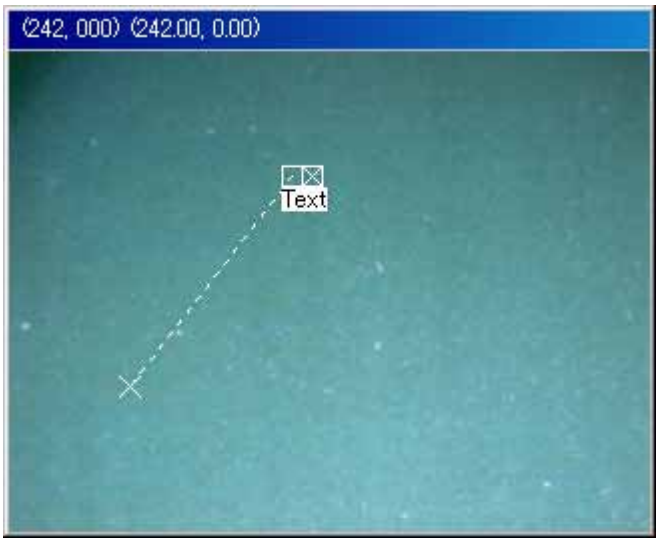
点を指定するごとに閉じた多角形が表示され、その周囲長と面積が表示されます。
ハンドルの削除はできません。ハンドルを移動することで対応して下さい。また、多角形の辺が交差している場合は正しい面積を表示しませんので御注意下さい。

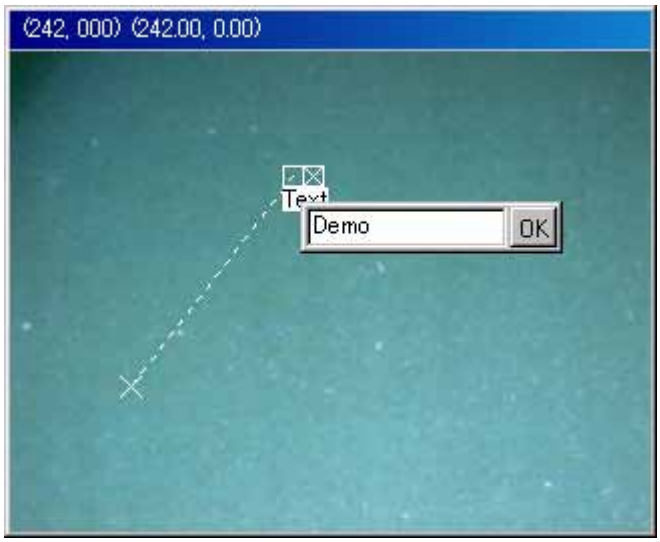
4.9.13　折れ線長

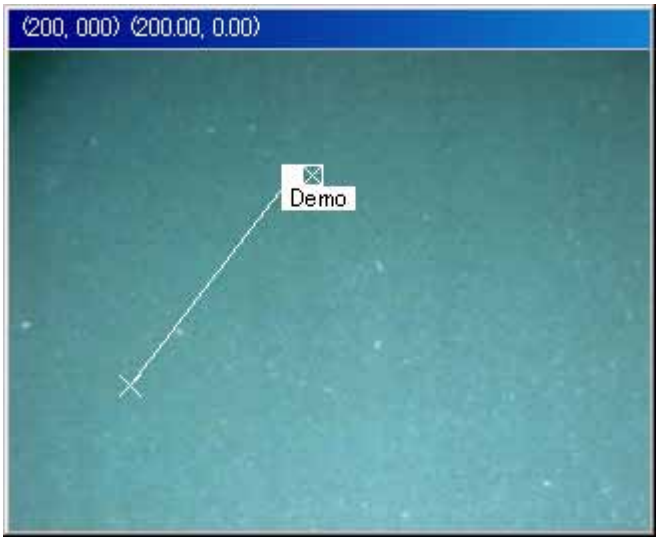


点を指定するごとに折れ線とその長さを表示します。
ハンドルの削除はできません。ハンドルを移動することで対応して下さい。

4.9.14　コメント挿入







点を指定すると、結果表示ハンドルから点までの直線を表示します。
コメント内容を変更するにはコメントそのものをクリックして下さい。

4.9.15　削除

画面に表示された計測マーカおよび計測結果を削除するには、計測マーカを選択して をクリックします。全ての計測マーカおよび結果を削除するには をクリックしてください。

4.9.16　フォントサイズ

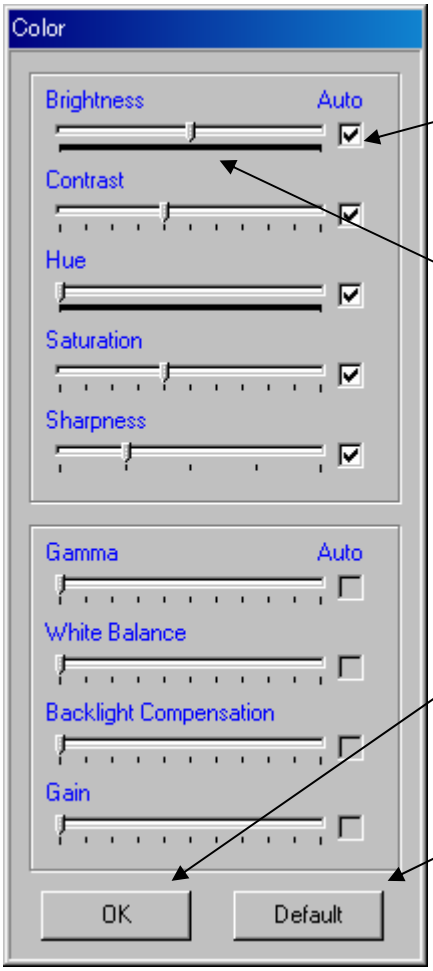
計測結果を表示するフォントサイズを変更するには 20 の数値を変更します。

4.9.17　その他

計測マーカおよび計測結果を一時的に消去するには をクリックしてください。再度クリックすると再び計測マーカおよび計測結果が再び表示されます。

4.10 カラー調整

をクリックするとカラー調整ダイアログを表示します。



自動調整か手動調整かを選択します。

スライドバーを動かして各項目を設定します。Auto がチェックされている場合はチェックを消してから調整してください。

設定を保存してダイアログを閉じます。

設定を標準状態に戻します。

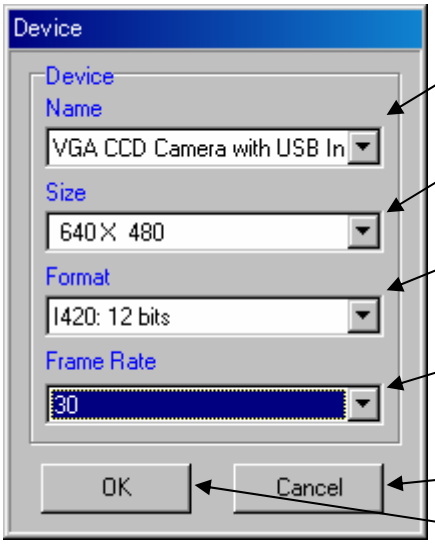
画像の色調等を調整します。調整可能な項目はカメラによって異なります。このダイアログで調整できない場合でもデバイスのプロパティで調整可能な場合があります。デバイスのプロパティを表示するには Prop をクリックして下さい。

また、Windows XP の場合自動調整機能の有無にかかわらず常に Auto にチェックマークがつきます。

Default をクリックすると標準状態に戻ります。カメラによっては標準状態が適切な設定ではない場合があります。御注意ください。

4.11 カメラの選択

をクリックするとデバイスダイアログを表示します。



複数台のカメラを備えている場合カメラを選択します。

カメラが出力する解像度を指定します。
可能な解像度はカメラによって異なります。

カメラが出力する画像フォーマットを指定します。可能なフォーマットはカメラによって異なります。

カメラの出力するフレームレートを指定します。可能な値はカメラによって異なります。また、画面表示は必ずしもここで指定したフレームレートにはなりません。PC の性能に依存します。

設定を保存せずにダイアログを閉じます。

設定を保存してダイアログを閉じます。

設定を行うときは、必ず上にある項目から順に全ての項目を設定してください。

4.12 デバイスプロパティ

をクリックするとデバイスプロパティを表示します。
解像度に関する設定はこのダイアログで行わないで下さい。

4.13 画像の管理

メインウィンドウの をクリックすると自動保存で設定したフォルダが開きます。
保存時に設定した情報を表示するためにはフォルダに以下の設定をします。
（以下の説明は Windows XP をお使いの場合のみ有効です。）

表示されたフォルダの「表示」「このフォルダのカスタマイズ」を選択します。
「カスタマイズ」タブを選択して「フォルダの種類」から「画像」または「フォトアルバム」を選択します。
「OK」をクリックします。
「表示」メニューから「詳細」を選択します。
「表示」メニューから「詳細表示の設定」を選択します。
以下の項目にチェックします。
名前　種類　大きさ　表題　作成日時　作成者　タイトル　コメント
フォルダの上部に表示されている項目名を必要に応じてクリックし、ドラックして並び替えます。

以上で設定は終わりです。
「表示」メニューの「縮小版」と「詳細」を適宜切り替えることで目的に応じて表示方法を変更してください。なお、さらに表示されたフォルダの「ツール」メニューから「フォルダオプション」「全般」「フォルダに共通の作業を表示する」にチェックを付けると印刷等も簡単に行えます。この場合は「表示」メニューに「写真」が追加され、これを選択するとサムネイルと選択した画像が同時に表示されます。

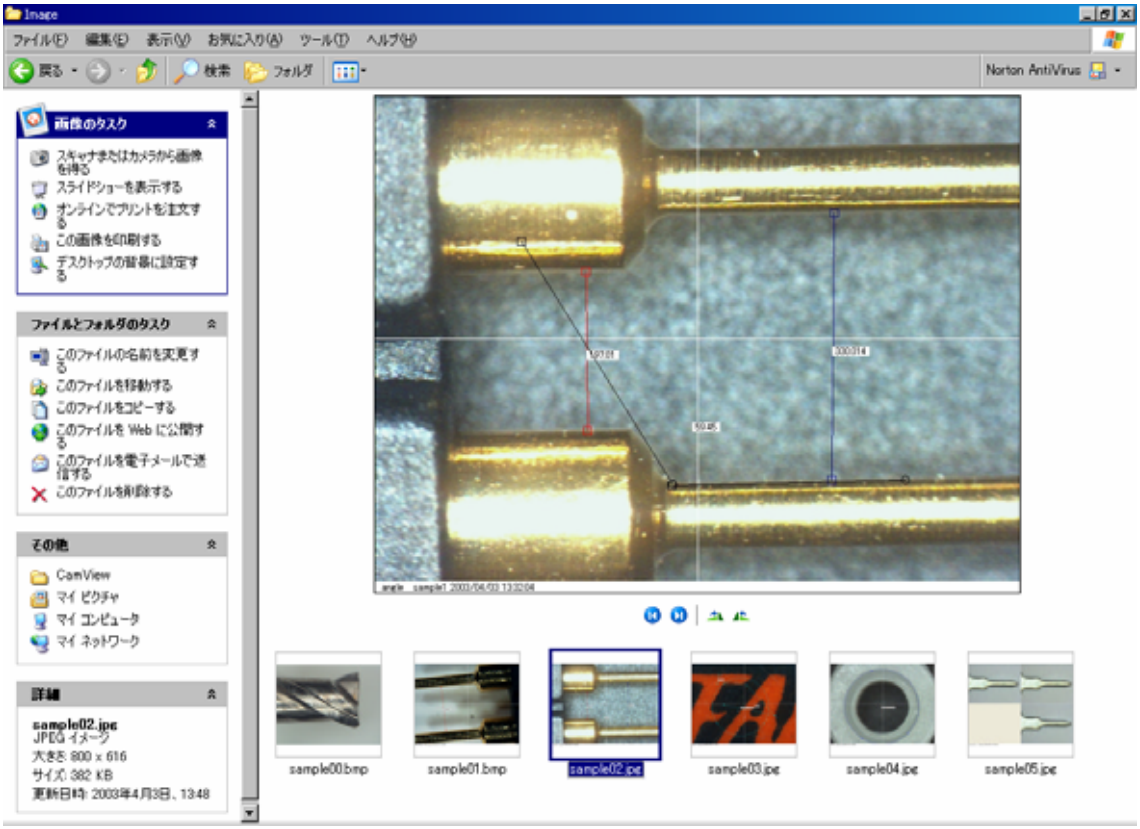


Image
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
戻る
検索
フォルダ
Norton AntiVirus
画像のタスク
スキャナまたはカメラから画像を得る
スライドショーを表示する
オンラインでプリントを注文する
この画像を印刷する
デスクトップの背景に設定する
ファイルとフォルダのタスク
このファイルの名前を変更する
このファイルを移動する
このファイルをコピーする
このファイルを Web に公開する
このファイルを電子メールで送信する
このファイルを削除する
その他
ComView
マイ ピクチャ
マイ コンピュータ
マイ ネットワーク
詳細
sample02.jpg
JPEG イメージ
大きさ: 800 x 616
サイズ: 382 KB
更新日時: 2003年4月3日、13:48
sample00.bmp
sample01.bmp
sample02.jpg
sample03.jpg
sample04.jpg
sample05.jpg

5　機能一覧

Cam View 2.5の機能

機能	詳細機能	
画像反転	垂直	L
	水平	L
画面分割	垂直2分割	S
	水平2分割	S
	中央抽出4分割	S
	縮小4分割	S
画像保存 JPEG，BMP形式	自動保存	S
	手動保存	F
	定周期自動保存（5s～1h）	P
	計測データオーバレイ	L
	ユーザ定義スケールオーバレイ	L
	可変ピッチスケールオーバレイ	L
	タイトル、日付時刻付加	S
	JPEGクオリティ設定	F
	ファイルプロパティ設定(JPEGのみ)	S
画像読込 JPEG，BMP形式	全体画面	S
	分割画面	S
フリーズ	全画面	F
	分割画面	S
ユーザ定義マーカ	線分	L
	垂直線	L
	水平線	L
	矩形	L
	正方形	L
	円	L
	楕円	L
	保存	S
可変ピッチスケール	クロス	L
	メッシュ	P
	同心円	P
特殊効果	ノイズ除去	P
	画像積算	P
	画像間加算	S
	画像間減算＋オフセット	P
	画像間減算＋絶対値	P
	画像間乗算	P
	モノクロ化	L
	モノクロ　2値化	S
	輝度反転（ネガ）	L
	画像間論理積	S
	画像間論理和	S
	画像間排他的論理和	S

機能	詳細機能	
キャリブレーション	校正	L
	保存、読込	S
計測	2点間距離	L
	角度（3点、4点指定）	S
	円（2点、3点指定）（面積、半径）	S
	矩形（面積、辺長）	S
	座標	S
	個数カウント（最高 99個）	P
	2円中心距離（各2点、3点指定）	P
	点と線の距離（最高 30点）	P
	平行2線分間距離	P
	多角形面積周囲長（最高 50頂点）	P
	折れ線長（最高 50頂点）	P
	コメント挿入	S
	フォントサイズ変更	L
カラー調整（注1）	ブライトネス	F
	コントラスト	F
	ヒュー	F
	サチュレーション	F
	シャープネス	F
	ガンマ	F
	ホワイトバランス	F
	バックライト補正	F
	ゲイン	F
デバイス選択（注2）	解像度（注3）	F
	フォーマット	F
	フレームレート	F
デバイスプロパティ	（注3）	F

F:　試用版の期間終了後も使用できる機能
L:　Lt、Std、Pro版で使用できる機能
S:　Std、Pro版で使用できる機能
P:　Pro版のみで使用できる機能
試用期間中はすべての機能を使用できます。

（注1）　調整可能項目はカメラまたはキャプチャデバイスによって異なります。

（注2）　設定可能値はカメラまたはキャプチャデバイスによって異なります。

（注3）　デバイスのプロパティで直接解像度の変更は行わないで下さい。

6　ライセンス登録

ライセンス登録については補足説明(License.rtf)をご覧下さい。
License.rtf は「スタート」「すべてのプログラム」「Cam View」から参照できます。

Cam View 2.5 マニュアル

Rev. B1　２００５年２月１日

Copyright (C) 2003-2005 Trinity, Inc.

有限会社 トリニティ
Tel　0276-40-8020
D-Fax　020-4665-4113
Web Site：http://www.trinity-lab.co.jp
E-mail：camview@trinity-lab.co.jp